

## 第2学年 英語科学習指導案

令和4年10月28日(金)  
第5校時13:25~14:15  
2年3組 31名  
指導者 尾島 慶子

### 1. 単元名 友だちに自分の推し曲を紹介しよう

(『Sunshine2』(開隆堂出版) PROGRAM 6 「Live Life in True Harmony」)

### 2. 単元について

#### (1) 教材について

- 本単元では、ミラー先生と健がスティービー・ワンダーの曲について会話する場面から始まり、彼の代表曲である「Happy Birthday」「I Just Called to Say I love you」にまつわるエピソードが紹介されている。対話文や説明文から、彼の信念や曲に込めた思いを学ぶことができるとともに、スティービー・ワンダーとつながりのあるキング牧師やマンデラ大統領による人種差別撤廃の取組から、人権について考えることができる教材となっている。
- 言語材料は、「受け身」について学習する。動作の受け手を話題の中心をおいて表現することができる「受け身」を用いた表現を学ぶことで、より幅広い英語表現を身に付けることができる言語材料となっている。

#### (2) 生徒について

- 本単元で生徒に付けさせたい力は「書く力」である。
- 今年度の大分県学力状況調査結果から「書く」技能の定着状況を見ると、「与えられた情報に基づいて書く英作文」では目標値を2.9ポイント上回っていた。しかし、「単語の並びかえによる英作文」「場面に応じて書く英作文」「3文以上の英作文」の問題では、目標値を下回っていた。特に「3文以上の英作文」の問題として、自分の学校生活を含めて、まとまった内容で自己紹介する文を書き表す問題では、目標値から6.2ポイント下回っていた。これは、単文による英作文はできるが、目的や相手意識を持ったまとまりのある内容で英文をつくる活動が不足していることが要因としてあげられる。したがって、「書く」技能においては、「目的や相手意識を持ったまとまりのある内容で英文を書く力」の育成が課題であると考えている。

#### (3) 指導について

「書くこと」の「目的や相手意識を持ったまとまりのある内容で英文を書く力」の育成を目指して、次の4つの指導を中心に本単元で継続して行なう。

- ① 書く力の基礎となる語彙力を習得させる。単語学習の際にペアで新出語句の発音と意味を確認しあった後、単語シートで書く練習に取り組み、単語テストを行う。
- ② 「ディクテーション」に取り組み、聞いた英語を正確に書く技能を習得させる。具体的には、教科書のScenesに出てくる基本文を含む文のディクテーションに取り組みさせる。
- ③ 「スモールトーク」で自分の考えを伝え合う力の育成を図る。帯活動でテーマについて自分の考えを40秒間英語でやりとりをする。やりとりの後、自分の考えをワークシートに2~3文で書く活動を継続する。
- ④ 単元の「言語活動」を通して、目的や相手意識を持ったまとまりのある内容で英文を書く力の育成を図る。言語活動に「場面設定・目的意識・相手意識・自分の考え」の4要素を取り入れ設定する。

場面設定：自分が友だちに聞いてもらいたい「推し曲(おススメの曲)」をクラスで発表します。  
目的意識：友だちの発表を聞いて「自分も聞いてみたい」と思った曲を1曲選んでもらいます。  
相手意識：友だちに聞いてみたいと思わせるように、曲の紹介文を作ります。  
自分の本当の考え：紹介文には、曲名とその曲が好きな理由を入れて作りましょう。

### 3. 単元の目標

自分のおすすめの曲について、客観的な事実や情報をもとに、自分の考えや思いを述べるリテリング活動を通して、目的や相手意識を持ったまとまりのある英文で書くことができる。

### 4. 関連する学習指導要領における領域別目標

書くこと	イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにする。
------	---

### 5. 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
書くこと	<知識> 「受け身」の特徴やきまりを理解している。 <技能> 「受け身」を用いた英文を書く技能を身に付けている。	自分のおすすめの曲について、客観的な事実や情報をもとに、自分の考えや気持ちを整理したリテリング活動を通して、目的や相手意識を持ったまとまりのある英文で書いている。	自分のおすすめの曲について、客観的な事実や情報をもとに、自分の考えや気持ちを整理したリテリング活動を通して、目的や相手意識を持ったまとまりのある英文で書こうとしている。

### 6. 指導と評価の計画（8時間扱い）

時間	学習活動	評価の観点		
		知	思	主
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元の目標を提示し、単元末に「友だちに自分の推し曲（おすすめ曲）を紹介することを確認する。</li> <li>○ 受け身の特徴やきまりを理解する。</li> </ul>	○		
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 〈be 動詞＋過去分詞 by〉の文を理解する。</li> </ul>	○		
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 〈be 動詞＋known to〉 〈be 動詞＋covered with〉の文を理解する。</li> </ul>	○		
4 本 時	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ スティービー・ワンダーと彼の歌についての会話文を読み取る。</li> <li>○ 本文の内容と自分の思いについて、ダニエルにわかりやすく伝える。</li> </ul>		○	
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ スティービー・ワンダーの“I Just Called to Say I Love You”という歌についての会話文を読み取る。</li> <li>○ 本文の内容と自分の思いについて、エミリーにわかりやすく伝える。</li> </ul>		○	
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ スティービー・ワンダーの“Happy Birthday”という歌に関する会話文について、内容を読み取る。</li> <li>○ 本文の内容と自分の思いについて、ミラー先生にわかりやすく伝える。</li> </ul>		○	
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分の推し曲（おすすめ曲）について友だちに紹介する文を書く。</li> </ul>		◎	◎
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「推し曲」の発表を聞き、1番心に残った紹介文を選ぶ</li> <li>○ 1番投票が多かった紹介文を書いた生徒が再度発表し、その曲を聞く。</li> <li>○ 単元全体を振り返る。</li> </ul>		○	○
後日	ペーパーテスト（定期テスト）	◎	◎	

7. 本時案

2年3組	教科	英語	指導者	尾島 慶子
単元名・題材名	友だちに自分の押し曲を紹介しよう。 (Program6 Live Life in True Harmony)		時	4 / 全8時間
ね ら い	<p>A スティービー・ワンダーと彼の歌についての情報を          B ダニエルに分かりやすく伝えるためにエクスチャートで整理したリテリング活動を通して、          C まとまりのある英文で書くことができるようにする。</p>			
評価	【評価規準】 会話文の情報を、教科書本文の内容と自分の考えを整理し、まとまりのある英文で書いている。			
	【観点】 思考・判断・表現	【評価方法】 記述分析		
展開	<p>○新出語句の発音を確認し、ペアで単語練習に取り組みせる。          ○本文を聞かせ、どんな内容だったかペアで確認させる。          ○ワークシートのT or F、Q&amp;Aに取り組みせる。          ○内容についてやりとりをしながら答えを確認する。          ○音読練習を行わせる。(チャンクリピート、バズ読み、リード&amp;レック・アップなど)          ○本文の内容理解後、ダニエルが登場し「What were Ken and Ms.Miller talking about?」          と尋ねられました。」という場面設定し、本時のめあてを位置付ける。</p>			
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>【めあて】ダニエルに、ケンとミラー先生が話していた内容を伝える英文を書こう。</p> </div> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 10px 0;"> <div style="border-left: 2px solid black; border-right: 2px solid black; height: 100px; margin-right: 10px;"></div> <div style="text-align: center;"> <p>↑</p> <p>○スティービー・ワンダーと彼の歌に関する情報や自分の思いをエクスチャートに整理させる。 マッピングをもとに、スティービー・ワンダーと彼の歌について3文程度、自分の考え1文を考えさせる。              ○個人で考えた英文をペアで交流させる。 [個] 苦手な生徒には表現プリントを参考にさせたり、ペアやグループでどんな英文にしたらよいか考えさせたり、教え合わせたりする。              ○別のペアにキーワードを見せながら、スティービー・ワンダーや彼の歌、自分の考えを伝えさせる。              ○別のペアに伝えた文をワークシートに書かせる。              ○書いたワークシートについて、ペアやグループでアドバイスをさせる。              ○書いたワークシートを写真で撮り、ロイロノートで提出箱に出させる。              ○生徒の書いた英文を紹介し、よい点を評価する。              ○「ダニエル」にケンとミラー先生の話をもとまりの英文で書くことができたかの視点で振り返りを行わせる。</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>【振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ダニエルに分かりやすく伝わるように、スティービー・ワンダーや彼の歌、自分の考えを書く順序に気を付けて書くことができた。</li> <li>・ スピーディー・ワンダーについての自分の考え・思いも書くことができた。</li> <li>・ 友だちの書いた英文を見て（聞いて）、参考になった。</li> </ul> </div>			